

サンプル

別添1 (別紙5)

1年以上・月16回以上施術継続理由・状態記入書

(はり・きゅう用)

(平成29年8月分)

患者	氏名			
	生年月日	明・大・昭	平	年 月 日
傷病名	① 神経痛 2. リウマチ 3. 頸腕症候群 4. 五十肩 5. 腰痛症 6. 頸椎捻挫後遺症 7. その他 ()			
施術の種類	① はり 2. きゅう 3. はり・きゅう併用			
初療年月日	昭・平 28年 3月 9日			
施術回数	月 18回 (当該月の施術回数を記載)			

患者の状態の評価		評価日	平成 29年 8月 31日
痛みの強さ	0 1 2 3 4 5 6 7 8 ⑨ 10		
NRS (Numerical Rating Scale: ニュメリカル レーティング スケール) による評価 (注) 全く痛みがない状態を「0」、自分が考え想像しうる最悪の痛みを「10」として、今感じている痛みの点数を患者に聞き、該当の点数に印をつけること。			

前月の評価の有無	① 有り 2. 無し
前月の状態からの改善や変化 (前月の評価の有無が「有り」の場合に記入)	
1. 悪化 ② 維持 3. 改善小 4. 改善中 5. 改善大	

(症状、経過及び初療の日から1年以上経過して、月16回以上の施術が必要な理由)

平成27年12月 肝がんの診断。平成29年7月 ステージⅣの診断となり、在宅で緩和ケアを行う方針となる。多臓器転移及び骨転移が認められ、オピオイドの処方も行われているが疼痛軽減に至らず、本人の希望により鍼施術にて切り替える。
 鎮痛周期が短く、1日3回の施術が必要

上記のとおりであります。

平成 29年 9月 1日

はり師・きゅう師氏名

印